

建築製図 (A 専門科目)

=====

科目名:

建築製図 (英文科目名: Architectural Drawing)

4 単位 建築学科 2 年 通年 演習

担当教官:

前期: 尾立弘史 (居室: 建築学科棟 2 階) Email:oryu@oyama-ct.ac.jp

後期: 高橋大輔 (居室: 建築学科棟 2 階) Email:daisuke@oyama-ct.ac.jp

授業目的:

前期は尾立が後期は高橋が担当する。前期は基本的な建築図面の種類と内容を理解させ、木構造と鉄筋コンクリート造の建築物を中心に、基本的な図面の描き方を修得させる。後期ではロゴマークのデザインや、実際に手を動かして、実物大の家具製作や建築模型制作を行うことで、図面を読み取り、形にしていくプロセスを修得させる。

達成目標:

前期では木造・RC 造における基本図面に関する基礎的知識の修得を目指し、後期では、図面から実物大、若しくは模型へ表現する能力の修得を目指しつつ、プレゼンテーション手法も併せて学ぶ。

教科書:

なし

参考書:

建築製図に関する書籍、建築家の建築ドローイング集、デザイン雑誌など

学習方法:

予習-建築の基本図面を日頃からよく見て、実際の建築物と照らし合わせ、どこがどのように図面上で表現されているか理解すること。優れたグラフィックデザインや椅子、建築家の住宅に興味を持ち、様々な雑誌に目を通しておくこと。

授業-課題説明と図面・グラフィック・模型制作が中心となる。

復習-授業中に指摘された部分を再検討し、さらによりよい作品になるよう修練する。

学習保証時間:

講義 200 分[時間/週] × 1[週/前期]+200 分[時間/週] × 3[週/後期]+

実習 200 分[時間/週] × 26[週/前・後期] = 100.0 時間/年

キーワード:

図面、木造、RC 造、建築家の住宅作品、椅子、CI

授業内容:

< 前期 >

1. 縮尺と図面表現 1 週

-RC 造建物の図面のトレース-

1. 平面図 2 週

2. かなばかり図 2 週

3. 立面図 1 週

4. 断面図 2 週

(前期中間試験)

-木造住宅のトレース-

- 5．平面図・・・・・・・・・・・・・2 週
- 6．立面図・・・・・・・・・・・・・1 週
- 7．かなばかり詳細図・・・・・・・・・・・・・2 週
- 8．構造模型の制作・・・・・・・・・・・・・2 週

（前期末試験）

<後期>

- 1．小山高専建築学科のロゴマークを作ろう・・・・・・・・・・・・・3 週
- 2．ダンボールで椅子を作ろう・・・・・・・・・・・・・5 週

（後期中間試験）

- 3．有名建築家の住宅作品を解析する（建築模型制作）・7 週

（学年末試験）

授業方法：

カリキュラム中の位置づけ：

前期には1年次の建築製図からより発展し、具体的な建築物の様々な基本図面の描き方を修得することで、木造とRC造の基礎を理解させる。

後期では身体的スケールや建築物のスケールについて、模型を作成することで修得し、それと共に自らの作品をプレゼンテーションすることを学ぶ。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

建築製図、図学、建築概論

この科目と同時に学ぶ関連科目

建築一般構造

この科目の後に学ぶ関連科目

建築設計、造形意匠、建築計画

評価方法：

提出作品の内容と出席状況によって行う。定期試験は行わない。

連絡事項：

学生へのメッセージ：

様々な建築図面を見てそれを理解しようとすると共に、建築家のドロ잉集やデザイン雑誌などから良いものを吸収して欲しい。

=====